平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月６日

上場会社名　山陽電気鉄道株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9052　ＵＲＬ　http://www.sanyo-railway.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）上門　一裕
問合せ先責任者　（役職名）取締役総務本部副本部長兼マネージャー　（氏名）荒木　素直　ＴＥＬ　078-612-2032
四半期報告書提出予定日　平成25年８月９日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	12,066	2.8	1,402	△4.2	1,401	△2.4	823	△3.1
25年３月期第１四半期	11,733	1.7	1,464	13.9	1,435	16.6	850	25.9

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　1,158百万円（39.2%）　25年３月期第１四半期　832百万円（46.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	7.41	－
25年３月期第１四半期	7.65	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	98,167	30,194	30.2
25年３月期	97,636	29,258	29.4

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　29,643百万円　25年３月期　28,733百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	2.00	－	2.00	4.00
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		2.00	－	2.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	23,201	△0.1	2,066	△14.1	1,969	△14.8	1,162	△14.2	10.45
通期	46,177	△5.5	3,278	2.1	2,984	0.0	1,753	8.3	15.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	111,652,992株	25年３月期	111,652,992株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	462,202株	25年３月期	459,166株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	111,192,027株	25年３月期１Ｑ	111,198,179株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.３「１.（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済政策により、円安・株高へシフトし、企業業績の回復基調が広がりつつあるなど、景気全体としては持ち直しの動きが見られました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、営業収益が12,066百万円と前同四半期連結累計期間に比べ332百万円(2.8%)の増収となりましたが、経費の増加により営業利益は1,402百万円と前同四半期連結累計期間に比べ61百万円(△4.2%)の減益、経常利益は1,401百万円と前同四半期連結累計期間に比べ33百万円(△2.4%)の減益となり、四半期純利益は823百万円と前同四半期連結累計期間に比べて26百万円(△3.1%)の減益となりました。

①運輸業

鉄道事業におきましては、周辺の観光施設と協力して「敦盛桜キャンペーン」を展開し、初の取組みとして夜桜のライトアップを行うなど、須磨エリアの魅力を発信するなかで増収をはかりました。また、20年に一度、播磨国総社で行われる「三ッ山大祭」の開催にあわせて、姫路エリアへの積極的な旅客誘致に努めました。このほか、施設面では、踏切支障報知装置設置工事などの安全対策工事を推進いたしました。

バス事業におきましては、一般乗合バスにおいて、平成25年４月に舞子駅から学園都市駅間を直通で結ぶ路線変更を行い、通勤・通学旅客の利便性を向上させるなど、引き続き旅客サービスの向上をはかりました。

運輸業全体では、外部顧客に対する営業収益は4,669百万円と前同四半期連結累計期間に比べ19百万円(0.4%)の増収となりましたが、経費の増加により営業利益は776百万円と前同四半期連結累計期間に比べ57百万円(△6.9%)の減益となりました。

②流通業

流通業におきましては、平成25年に開店60周年を迎えた山陽百貨店では、ＪＲ姫路駅前における大型商業施設の開業により、競争が激化するなか、新規テナントの誘致や地階フロアの入口付近のリモデルを通じて、食料品部門のさらなる充実をはかりました。また、美術催事においては、百貨店ならではの強みを活かし、彫刻家「流政之」の個展などを積極的に企画するなかで、さらなる集客力の向上をはかりました。

流通業全体では、外部顧客に対する営業収益は5,299百万円と前同四半期連結累計期間に比べ107百万円(2.1%)の増収となりましたが、経費の増加により営業利益は73百万円と前同四半期連結累計期間に比べ21百万円(△22.6%)の減益となりました。

③不動産業

不動産業のうち分譲事業におきましては、堺市南区で「プレイズ堺 光明池」の建設を進めましたほか、西宮市での「エスコート西宮グランハーツ」、神戸市須磨区での「エルグレース須磨 妙法寺川公園」の販売にも注力いたしました。

賃貸事業におきましては、大阪市西天満地区において賃貸マンションの建設を推進し、さらなる事業基盤の強化に取組みました。

不動産業全体では、前同四半期連結累計期間と比べ不動産分譲規模が大きかったことから、外部顧客に対する営業収益は1,096百万円と前同四半期連結累計期間に比べ298百万円(37.4%)の増収となり、営業利益は477百万円と前同四半期連結累計期間に比べ31百万円(7.1%)の増益となりました。

④レジャー・サービス業

レジャー・サービス業につきましては、須磨浦山上遊園において、春の行楽シーズンに夜間営業を行いましたほか、平成25年４月から、自然豊かな環境のなかで、ご家族で楽しめる体験型イベント「ワクワク・わんぱーク」を定期的に開催いたしました。

レジャー・サービス業全体では、外部顧客に対する営業収益は644百万円と前同四半期連結累計期間に比べ33百万円(△4.9%)の減収となりましたが、経費の圧縮により、営業損失は14百万円と前同四半期連結累計期間に比べ６百万円減少しました。

⑤その他の事業

一般労働者派遣事業、設備の整備業などその他の事業においては、外部顧客に対する営業収益は355百万円と前同四半期連結累計期間に比べて58百万円(△14.2%)の減収となり、営業利益は55百万円と前同四半期連結累計期間に比べ1百万円(△2.2%)の減益となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間の総資産は、前期末に比べて530百万円増加し、98,167百万円となりました。また、純資産は前期末に比べて935百万円増加し30,194百万円となり、自己資本比率は30.2%となりました。

増減の主な内訳は、資産の部では現金及び預金が921百万円、投資有価証券が479百万円、それぞれ増加し、また、受取手形及び売掛金が484百万円、分譲土地建物が217百万円、それぞれ減少しております。負債の部では長期前受工事負担金が1,356百万円増加し、また、未払法人税等が428百万円、長期借入金が1,431百万円、それぞれ減少しております。純資産の部では、利益剰余金が601百万円増加しております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第１四半期の業績及び今後の見通しを勘案し、平成25年５月15日に公表しました業績予想を変更しております。

第２四半期（累計）の業績予想につきましては、営業収益23,201百万円（前期比0.1%減）、営業利益2,066百万円（前期比14.1%減）、経常利益1,969百万円（前期比14.8%減）、四半期純利益1,162百万円（前期比14.2%減）を見込んでおります。

通期の業績予想につきましては、営業収益46,177百万円（前期比5.5%減）、営業利益3,278百万円（前期比2.1%増）、経常利益2,984百万円（前期比0.0%増）、四半期純利益1,753百万円（前期比8.3%増）を見込んでおります。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,240	10,161
受取手形及び売掛金	2,144	1,659
有価証券	699	699
商品及び製品	990	1,074
分譲土地建物	4,445	4,228
繰延税金資産	290	284
その他	647	684
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	18,454	18,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,392	34,203
機械装置及び運搬具（純額）	4,185	4,010
土地	19,225	19,279
建設仮勘定	10,542	10,609
その他（純額）	1,450	1,429
有形固定資産合計	69,797	69,533
無形固定資産	433	437
投資その他の資産		
投資有価証券	5,090	5,569
長期貸付金	65	69
繰延税金資産	282	264
その他	3,529	3,520
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	8,951	9,407
固定資産合計	79,182	79,378
資産合計	97,636	98,167

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,637	6,451
短期借入金	7,237	7,013
未払法人税等	1,014	586
賞与引当金	143	271
役員賞与引当金	30	―
商品券等使用引当金	328	324
その他	6,437	6,786
流動負債合計	21,829	21,433
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	22,792	21,360
繰延税金負債	104	252
退職給付引当金	1,446	1,443
長期前受工事負担金	9,857	11,213
受入敷金保証金	5,390	5,329
その他	957	940
固定負債合計	46,548	46,539
負債合計	68,377	67,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,090	10,090
資本剰余金	6,851	6,851
利益剰余金	10,977	11,579
自己株式	△129	△130
株主資本合計	27,789	28,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	944	1,253
その他の包括利益累計額合計	944	1,253
少数株主持分	525	550
純資産合計	29,258	30,194
負債純資産合計	97,636	98,167

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
営業収益	11,733	12,066
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	8,899	9,294
販売費及び一般管理費	1,369	1,368
営業費合計	10,269	10,663
営業利益	1,464	1,402
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	40	59
持分法による投資利益	0	0
バス補助金	39	36
雑収入	82	71
営業外収益合計	164	171
営業外費用		
支払利息	140	125
雑支出	52	46
営業外費用合計	193	172
経常利益	1,435	1,401
特別利益		
固定資産受贈益	－	1
特別利益合計	－	1
特別損失		
減損損失	0	10
固定資産除却損	－	9
特別損失合計	0	19
税金等調整前四半期純利益	1,434	1,383
法人税、住民税及び事業税	544	532
法人税等調整額	12	3
法人税等合計	556	535
少数株主損益調整前四半期純利益	878	847
少数株主利益	27	23
四半期純利益	850	823

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	878	847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	311
その他の包括利益合計	△45	311
四半期包括利益	832	1,158
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	806	1,133
少数株主に係る四半期包括利益	26	25

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	4,650	5,192	798	677	414	11,733	－	11,733
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	108	20	217	17	423	787	△787	－
計	4,758	5,212	1,015	695	838	12,521	△787	11,733
セグメント利益又はセグメント損失（△）	833	95	445	△20	56	1,410	53	1,464

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去53百万円であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	4,669	5,299	1,096	644	355	12,066	－	12,066
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	104	25	211	11	463	816	△816	－
計	4,774	5,324	1,307	656	819	12,882	△816	12,066
セグメント利益又はセグメント損失（△）	776	73	477	△14	55	1,368	34	1,402

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去34百万円であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。